

# 市の構想見直し、「英知」集めよう

「どうなる、どうする！川西病院 みんなで考えよう 住民の集い」が11月26日、川西市商工会館で開かれ、1市3町から住民や議員約100名超が参加しました。

川西市の公共施設等あり方検討委員会・審議会委員だった森裕之立命館大学教授が「住民自治と公共施設のありかた」について基調講演。市の「総合医療センター構想案」が、全体のベッド数の削減を意図した病院の「再編・ネットワーク化」や指定管理者制度の導入・民営化という国の政策の流れそのままであること。国は一方で地方自治体への予算を減らし、他方で民営化促進の交付金の補助率をアップする給とムチ政策。診療報酬削減や医師確保をより困難にさせる医療制度改革などが強行されている中での川西市の計画であるという説明がありました。

その上で、改めて「公立病院」の役割を住民と共に考え、「病院の質と量」を確保させる取り組みが、自治体に求



められていると強調。住民の実態を把握、分析し、自治体の政策に生かす重要性を、さいたま市の住民参加型ワークショップや飯田市民病院の自治体間協力体制などの先進事例を交え報告されました。

集いでは、住民のリレートークやフロア発言が活発に行われ、最後に市長の構想案を見直し、川西病院の経営健全化や充実改善について、住民や議会、様々な専門家の英知を結集、時間をかけて民主的に考えることを1市3町のすべての人に呼びかける「集会アピール」を大きな拍手で採択。市に提出することになりました。



写真 上  
講演中の  
森裕之教授（左）  
今西清さん（右）

写真 下  
11月26日、会場  
いっぱい詰めた  
1市3町の住民の方々

仮称「川西市総合医療センター構想」案の白紙撤回求める要望書

川西市長 大塩民生様



2017年12月14日

川西市北部に総合病院の存続を求める会

川西市多田院2丁目21-22 高須賀俊之

川西市は、市立川西病院(東畦野5丁目)を閉鎖し、公設民営の「川西市総合医療センター」を整備する構想案を明らかにしました。構想案では川西能勢口駅近くのキセラ川西地内に本院、北部に急患・救急患者を診る分院を整備するとしています。

市立川西病院は250床の2次救急を担う総合病院です。構想案にある外来だけの分院では、川西病院が現在果たしている医療機能を代替することはできません。川西市北部と周辺地域の医療を大きく後退させ、医療資源が潤沢にある市中央部に本院を移転することに反対します。市立川西病院の利用者や医療スタッフ、住民の理解と合意のないままに、移転民営化することは許されません。

よって、賛同署名12,900筆を添えて、下記要望いたします。

記

仮称「川西市立総合医療センター構想」案を白紙撤回してください。

以上

# 川西市内の病院の状況・救急搬送数

兵庫県病床機能報告 (H26. 7. 1 時点報告)

南部・中部・北部に医療バランスを

(たんぼぼだより 183号)

まちづくりとして、大規模災害への備えや新名神高速道路開通をむかえ、市の南部・中部・北部のそれぞれに救急・総合病院を確保する必要があります。

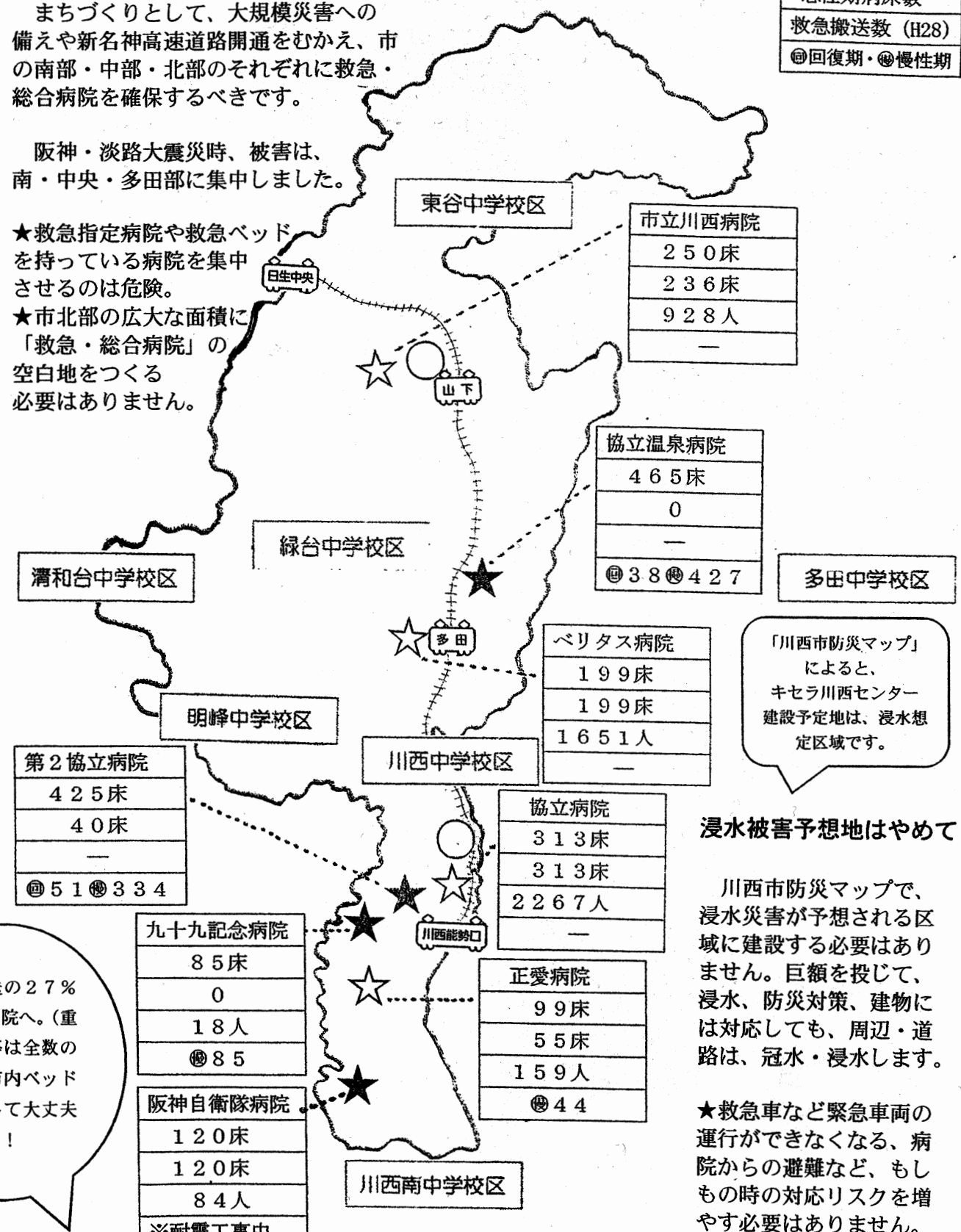
阪神・淡路大震災時、被害は、南・中央・多田部に集中しました。

★救急指定病院や救急ベッドを持っている病院を集中させるのは危険。  
★市北部の広大な面積に「救急・総合病院」の空白地をつくる必要はありません。

★ 救急指定・県認可

○ 構想(案)

病院名
許可病床数
急性期病床数
救急搬送数 (H28)
◎回復期・◎慢性期



「川西市防災マップ」によると、キセラ川西センター建設予定地は、浸水想定区域です。

## 浸水被害予想地はやめて!

川西市防災マップで、浸水災害が予想される区域に建設する必要はありません。巨額を投じて、浸水、防災対策、建物には対応しても、周辺・道路は、冠水・浸水します。

★救急車など緊急車両の運行ができなくなる、病院からの避難など、もしもの時の対応リスクを増やす必要はありません。

救急搬送の27%は市外病院へ。(重病・傷等は全数の4%)市内ベッドを減らして大丈夫ですか?!

来年度、東谷中学校区に「保育所等」建設予定だったのに、突然川西中学校区に建設だって!キセラのためなら何でもあり?!

中学校給食は、自校方式よりもお金がかかるセンター方式に変更?!建設予定地は南部・久代に1か所だけだって?!

高齢者の交通費補助までなくしてキセラ開発だけ特別!

病院駐車場の売上もごみ焼却場の売電収入もどんどん企業へのインセンティブであげちゃう川西市って財政厳しい???

東谷中学校区には、市内人口の20%が住んでいます...医療の空白地なんて作っちゃダメでしょ!

## 市は巨額の市債(借金)を抱えるが心配ないのか?

★市の説明      ★実際は① 176億円が膨らむ      ★②市が全額30年ローン  
30年にわたり銀行に返済し続ける (5年据え置き)  
総額 227億円+?億円      →      例えば総額 250億円と仮定しても

<p>*市は整備費全額を市債で賄うというが...市の負担は10% (17.6億円)?</p> <p>総額 176億円</p>	<p>+建設費の増額ほか?億円 +土壌汚染対策費 ?億円 +浸水対策費 ?億円 +職員・人件費 ?億円 +利息51億円、 合計 227億円+??億円??</p>	<p>市の負担 10%、25億円 ・これだとどまるの? *227億円でも、当初、年13~14億円を銀行に返済予定</p>
<p>整備費総額 176億円</p> <p>市の負担 10%      176億円</p>	<p>国の交付金 40%      176億円</p>	<p>国の交付金 40%、100億円 ・交付金は毎年変わる可能性 30年間も保障される? ・市への各種交付金の総額は100億円増えるの? (増えないのでは...)</p>
<p>指定管理者負担 50%</p>	<p>川西市の一般会計規模が545億円</p>	<p>指定管理者 50%、125億円 ・30年間払い続けられるの? ・指定管理契約期間は20年。その後は? ・指定管理者が倒産や、経営が悪化しても返してもらえるの? ・最後、誰が責任をとるの?</p>